

多良間村塩川・仲筋「塩川・仲筋」集落

集落
部門

深緑(みどり)に包まれたふるさとづくり (平成16年度認定)



多良間村塩川・仲筋集落は、フクギやヤラブ(テリハボク)、クロキに囲まれた美しい景観が特徴である。

また、多良間島といえば、国重要無形民俗文化財として指定されている「八月踊り」が大変有名である。祭りは旧暦8月8日から3日間繰り広げられ、さまざまな奉納芸能が執り行われる。その奉納芸能は、古木に囲まれた御願所の木漏れ陽差す神秘的な舞台で、まさに百花繚乱・彩舞い踊る、幻想的な世界として広がる。

400年近くも脈々と受け継がれてきた伝統文化「八月踊り」は島人の誇りであり、村の人々のこころはもとより、今と昔の絆を固く結ぶものとして継承され続けてきており、多良間島での生活は、その伝統の祭りを中心に年間行事が組み込まれている。

祭りの舞台となる御願所の古木と、それを取り巻く「みどり」の多くが、昔からの空間を保持し、塩川御嶽の植物群落とそこへと続くフクギ並木・集落を取り囲む抱護林帯、運城御嶽のフクギ群衆、嶺原・土原ウガンの植物群落は天然記念物として県指定されており、その歴史的な自然環境保全にも島全体で取り組んでいる。

島の農道だったフクギ並木は、貴重な財産として今も保ち続けている。

